

ニイガタ

ディーゼル機関
石油發動機
無注水式重油發動機

型錄第五十六號

株式會社

新潟鐵工所

本社

東京市麴町區有樂町一ノ一
(三菱二十一號館)

電話丸ノ内 { 1205
1201, 1202,
1203, 1204

電略「ニテ」

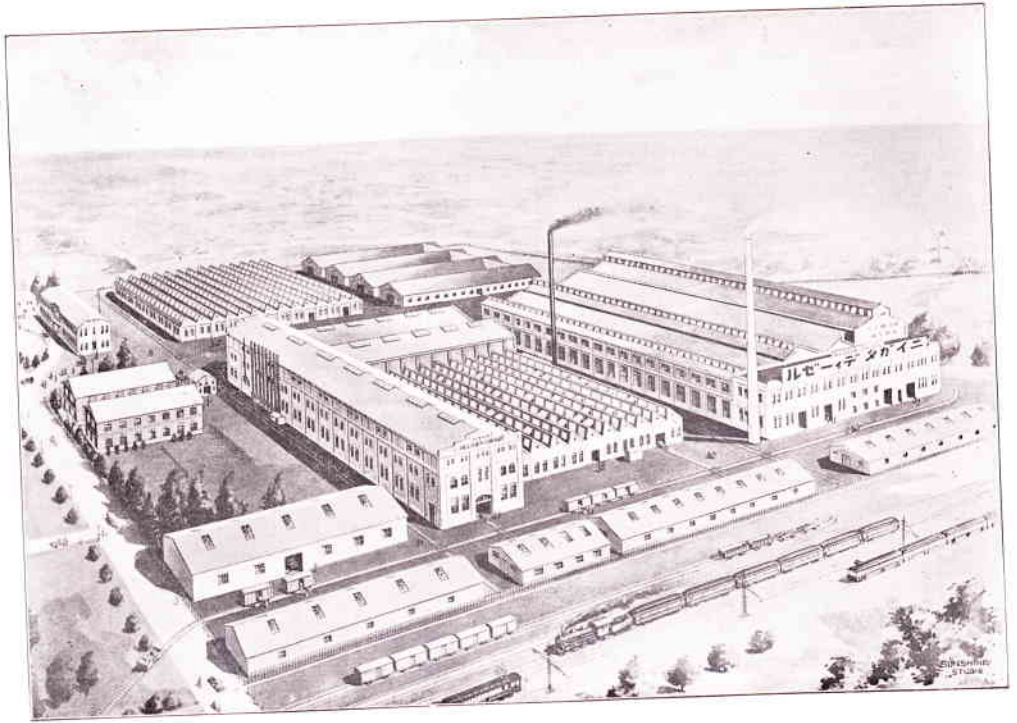
出張所

大阪市西區江戸堀北通一ノ十一
電話土佐堀 1708 電略「ニオ」

朝鮮京城府旭町一ノ二十
電話本局 1905 電略「ニケ」

秋田縣土崎港町相染新田
電話 49 電略「ニツ」

當社蒲田工場



位置 東京市外蒲田町(省線蒲田驛隣接地)
敷地 24,000 坪
建物 5,000 坪

弊社は初め日本石油株式會社の附屬工場でありまして、石油の鑿井及精製等に関する諸機械の製造が主なる營業科目の一であつた關係上、明治二十八年創業以來石油發動機を製造して之を採油や送油の原動機として供給しました。其後漁船用石油發動機の需要が勃興しましたので明治四十一年より船用石油發動機の製造を始め、大正四年には東京市月島に發動機専門工場を設けて生産の増加を計り其改良に力を注ぎました。

超えて大正六年本社を東京に移すと共に、多年の計畫であつたディーゼル機關製作の實行に入り、世界最古の歴史を有し、經歷信用及優秀なる技術に於て斯界に推賞せらるゝ、英國マーリス・ピッカートン・エンド・デー社より四サイクル式機關の製造及特許權買收の契約を締結し、且其製作に関する要諦を得る目的を以て、設

計鑄造及工作に關する専門技術者を同工場に派遣して實地に調査研究せしめ、同時に東京府蒲田町に内燃機關製作専門工場の建設に着手いたしました。總て是等技術者の歸朝と共に製作を始め、大正九年船用百軸馬力、陸用三百軸馬力の兩機を完成發賣するにいたりました、之れ實に本邦最初の産業用ディーゼル機關であります。同年蒲田工場も落成いたしまして弊社内燃機關製造に一新紀元を劃しました。發賣以來各種の原動機として陸續と御注文に接して居りますが多大の稱讚を博し供給數既に參百七十餘臺四萬八千餘馬力に達し國產品の過半數を占むる盛況であります。

ディーゼル機關は輒近其利用の範圍益擴大し出力も彌増大いたしまして大型客貨船用又は大發電所用として需要が著しく増加いたしました、弊社も亦此進運に伴はんが爲め大馬力機關の製作を企圖し種々調査の上、大正十一年瑞典ノバル・ディーゼル社と提携し二サイクル式機關の製作を始めました。同機關は熱効率機械効率共に高く、構造簡單にして重量軽く容積小にして特に船用に適して居ります。

弊社は更に幾多の研究實驗の末、エーアレス・ディーゼル機關を發賣し既に各方面に多數供給して居りますが、孰れも優秀なる成績を挙げ好評を博して居ります。

猶弊社は石油發動機と無注水式重油發動機とを製作いたします。共に二サイクル式で創業以來三十年間の經驗と不斷の研究とを基礎としてディーゼル機關同様材料を精選し高級なる工作法を應用して居りますから兩者とも品質優秀にして運轉確實なることは既に定評があります。

蒲田工場は歐米に於ける此種工場の萃を採り、嶄新精巧なる専門工作機械を据付け最新の科學を應用したる完全なる設備を有し製品の確實優秀を期すると共に、作業能率の増進によりて製作費の節減を圖り多量生産の下に良品廉賣の實を舉げて居ります。又同工場には材料研究室を設け、化學的及物理的試験によつて、機關の各部に夫々適應すべき材料を精選使用します。就中鑄造品は弊社の最も力を注ぐもので高滿俺低炭素鑄鐵、減摩合金等悉く弊社獨特の製品であります。殊にディーゼル機關の氣笛用鑄鐵に對しては一層重要なる研究を進め、工業研究獎勵金を受くるにいたりましたことは頗る光榮とする處であります。

弊社は多年石油發動機の製造に従事して居りますので幾多の研究を重ね豊富なる經驗を有して居ります。殊にディーゼル機關に就ては現今世界に於ける各種の機關を周密に調査し最も確實安全にして而も我國情に適せる型式を採用しました、加之前述の如く完整せる設備に依りて製作しますから世界一流の製品に比して些の遜色もありませぬ。ニイガタ内燃機關に一貫せる最大特色は實に其優秀なる品質に存するのであります。